



## 希望の力

### The strength of hope

クリスチャン・サイエンス・モニター紙より 11.20.2009

Fujiko Signs / サインズ・富二子

希望学-希望についての研究が日本で注目をあびています。バブル経済の崩壊後、いつまでも続く不景気、自殺者の数がふえていることなどがこの学問を誕生させたのでしょう。今のところ、希望の度合いは収入や教育のレベルと比例しているのではないかという結論が出ていますが、それと同時に、調査によれば、十分な収入と教育があり、都会に住んでいる人々の希望の度合いは非常に低いということも分かってきました。

ひとつ、結論として分かってきたことは、理想とするゴールに到達しても、その後も進歩して行くと言う実感がない場合、人々の希望の度合いは、減少していくということです。つまり、私たちの思考や生活に変化や進歩がないと、前に進めなくなり、希望も全くない状態になるのです。

聖書には「希望は、私たちの目の前に証拠として現われる前に、変化があることを感じさせてくれる、信仰に結びつく1つ手前のステップだ」と書いて

他の日本語記事については、次をご覧ください：<http://www.spirituality.com/christiansciencesakigake/index.jhtml>

© 2009 The Christian Science Publishing Society (CSPS). この記事は、50部までプリントアウトして、非営利として実費で提供することができます。この記事メール (email) で送ったり、ウェブサイトに載せたりすることはできません。代わりに、CSPSのウェブサイトに掲載されているこの記事へのリンクを、メールしたり、ウェブサイトに載せたりしてください。この記事の他の出版物に転載する許可を得るには、[copyright@csp.com](mailto:copyright@csp.com)宛に、メールをお送りください。件名は、英語で "Copyright Request" としてください。

あります。聖書のヘブライ書の作者によると「信仰は希望するものの実質で、目にはまだ見えない証拠である」と書いてあります ( 11: 1)。

この「希望するものの実質」とは、私たちの霊性に非常に深くかかわってくるものです。メリー・ベーカー・エディは、「科学と健康付聖書の鍵」の中で次のように説明しています。「霊的感覚は、物質的感覚を否定して、直観・希望・信仰・理解・実り・実在性にかかわるものである」( 298 )

これらは単に肯定的に聞こえる言葉ではありません。私たちはこれらの要素なしでは生きていけないのです。霊的直観を通して私たちが本当に何をしたらいいのか知ることができるのです。正しいことをしようとするひとつひとつの願いは、私たちの源が、無限の善、神であるという事実から来ているのです。

たとえば、もしあなたが世界平和に貢献をしたいと思いその願いが直観と希望に支えられているなら、もっと深い理解、忍耐、協力、画期的なアイデアへと導かれるでしょう。この願いと希望の結果現われたものは、実は、私たちの霊的起源の証拠なのです。つまり、私たち皆、無限の愛、( 神を現すもう 1 つの名前 ) から来ているのです。

そして、無限の愛の中には疑いや限界がないのです。聖パウロは、こういつています、「この世と調子を合わせては行けません。いや、むしろ、神のみこころは何か、すなわち、何が良いことで、神に受け入れられ、完全であるのかをわきまえ知るために、心の一新によって自分を変えなさい」(ローマ 12:2)。神が唯一の原因であることを知ることは、神性の意志が常に健康で、善で、寛容、恵みと意味に満ち足りて、新しいことを示してくれます。

それは、希望に満ちていられる理由をたくさん与えてくれます。新しいアイデアとそれを実現するための力を授かるために 神性の心(もう1つの神の同意語)を頼りにすれば、心を「一新にする」ことは自然にできるでしょう。私たちが希望を見つけて人間の意見や理論による発想をつくり出す必要はないのです。

今日、この瞬間、私たちは希望を持てるように創造されているのです。それは、私たちの中に組み込まれた素質なのです。希望はすべての人、若くても、年配であっても、貧富の差、教育の差を問わず皆の中にあるのです。希望は、私たちの考えを高めるために誰にでも、どこでも、手に入る(アクセスできる)ものなのです。希望とともに私たちは人を癒し、また自分自身が癒されるため、隣人を兄弟、姉妹としてもっともっと愛することができるようになるのです。